

第8回若者まちづくり委員会	
	平成19年11月13日(火)
	午後7時30分~
	役場本庁舎第一会議室
1. 開 会	
副町長	<p>皆さんには、これからのまちづくりについて色々ご議論されたことと思いますが、本日、提言を含めてご意見をいただくということで、皆さんがこれからの長い人生をこの石川町で過ごされるなかで、皆さんの貴重な意見を、これからの町の計画の中に充分反映出来る様な計画を作りたいと思っております。</p> <p>もちろん、皆さんには、今まで何度かお集まりいただき、まちづくりについての考え方に対して示していただきましたけれども、決して、これで終わりということではございませんので、これからも様々な機会を通して石川町について接していこうということ、皆さんがこれからも思っていたければ良いと思っております。</p> <p>今回の提言のみならず、これからも色々な場面において皆さんと一緒にこれからの石川町づくりについて考えていければ、と思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
2. 提言書の提出	
	・ 提言書冒頭 桑沢委員・鎌田委員
	・ 提言内容説明
	「めんごいいしかわ」中沢委員
	「あいさつの和・輪(みんなが家族)」高原委員
	「桜と四季の彩りでおもてなし」山田委員・芳賀委員・瀬谷委員・鎌田委員
	・ 提言提出 志賀委員・中島委員
3. 町長あいさつ	
	みなさんこんばんは。
	今回は本当に私が期待しているような提言書をいただきまして、非常に心強く思いました。
	私が町長になって1年あまりが過ぎて、最近特に思うのは、トータルとして石川町の町民の皆さんは非常に素晴らしい感覚をお持ちになっていると思っています。待っているだけではなく、自分たちの住むところは自分たちで作り上げることが大切なのではないでしょうか。会社も地域も同じような部分があるのではないのでしょうか。皆さんの意欲や愛着が大変重要になってくると思っております。
	皆さんから提案をいただきました中で「めんごい」という表現がありましたが、非常にふさわしい言葉として、私もこれから気に留めなくてはならない言葉として受け賜いました。それに「あいさつ」も必要ですし、「桜」のような、私たちが一番自慢できるものが必要だということを再認識しております。
	石川町が再生するためには、町民の皆さんの力が一番の財産だと考えています。やはり人が一番重要なのです。今回、提言をしていただきました皆さんの若い思い、夢を、そして自分のことを堂々と話が出来ることが、これからの石川町にとって一番の原点に

	<p>なると考えています。若い方々の前向きな思いがこれからの石川町を必ず活性化するものと信じています。私は今日の提言を肝に銘じて町政に取り組んで行きたいと思ひますし、大事な提言として取り上げていきたいと思ひます。</p> <p>また、今回提言をいただきました「桜」というテーマに関しましても、役場の中で勉強会を開く予定になっております。福島県の中通り地方は全国の中でも有数の桜の地域といわれております。その中でも4000本も5000本もあると言われる石川町の桜は、その本数において群を抜くものです。このような素晴らしいところは数少ないのではないのでしょうか。これは石川町の大きな財産なのです。しかし、この良さを取り上げていくことが出来るのも人なのです。自然に現在の景観になったものではないはずで、やはり人の手によって整備されてはじめて多くの方が遠くからでも足を運んでくれるものになるのだと思ひます。そうすることによって桜の良さを全国にPRできる財産になるものと思ひます。こうして人が集まる場所にはもっと人が集まるというような、地域の活性化に大きく貢献できるものと考えます。このような事を皆さんから提案していただいたことによつて広く発信できるものになることと思ひます。</p> <p>これからも皆さんとは、是非、長いお付き合いをして、共に石川町住んでよかった、と思えるような魅力ある町を作るために皆さんのお力をお借しいただきたいと思ひております。</p> <p>この度は、大変お世話になりました。</p>
	4 . 懇談会
	座長：瀬谷企画調整課長
瀬谷課長	まず、それぞれの皆さんから一言づつ感想などを含めていただきたいと思ひます。
中島委員	<p>今回、若者まちづくり委員会に参加いたしまして、色々な方と話をすることによつて、価値観や考え方が違うということを感じました。石川町は小さな町ではありますが、自分が思っていることを話してみることによつて、それぞれが全く異なるものを見方をしているということを実感しました。皆さんのたくさんの意見の中で、色々な多様な考え方を感ずることによつて、このような事がこの町のひとつの可能性なのだということを感じました。</p> <p>このような機会に参加しまして、様々な話を聞いたことによつて自分自身の勉強になったと思ひました。</p>
芳賀委員	<p>委員会に参加した中で皆さんの話を聞くと色々な意見、話などが、自分では考えつかないような意見がどんどん出てきて、皆さんがとても一生懸命に町のことを考えているのだなということを感じました。色々な意見を持つ人達が集まって、色々な意見がたくさん出る中、これらをちゃんとみんなまとめて提言という形まで持ってきたということは、すごいことだなと感じました。ひとりではなかなか難しいことでもみんなで知恵を出し合えば、少しづつでも変わっていきけるのではないかと感じました。提言までこれたことは大変良かったことだと思ひます。</p>
円谷委員	これからまたこのような機会があれば、積極的に参加したいと思ひました。今後ともよ

	ろしくお願い致します。
鎌田委員	一番年下ということで心配になりましたが、実際に参加してみて最後の提言までの過程の中でたくさんのことを学ぶことが出来ました。この委員会を通して自分の中の考え方も広がったのではないかと感じています。委員会に参加したことは自分の中に大きな形として残ることだと思っています。
瀬谷委員	参加するまでは何をするのもわからず、私自身もかつては石川町から出たくて出たくて大学も東京へ進学しました。 石川町に戻ってきて6年経ちますが、どこかに出かけるにも町外に行くということが多かったのが実際です。しかし、今回、石川町の中で仕事も年齢も違う方々と話をすることによって、石川町の活気あるまちづくりということに対していろんな取り組みがあるのだなということや、石川町に関わる事柄にもいろんなものがあるのだなということがこの委員会を通じて知ることが出来ました。また、商工会や農業の話が聞けたり、この石川町について知らなかったことたくさん知ることが出来ました。今回、まちづくりということや石川町のプランということも少しは見えてくることが出来ました。8回の中で、多くの人と話が出来て、また、このような機会があれば、もっと多くの女性や子供たちとも色々な話出来るのかな、と思いました。石川町に住んでいて本当に良かったと思えるようにまたこれから頑張っていきたいなと感じました。
山田委員	今回、若者まちづくり委員会ということで参加させてもらいまして本当にありがとうございました。一番はここにいる皆さんと楽しく進められたということが、自分にとっては大変プラスになりました。友人や初めての方などもいましたが本当に良かったと感じています。この委員会に参加したことで、もっと石川町を良くしたいという思いをみんなで考えることが出来たのもとても良かったと思います。今後もこれからの農業のことを考えていきながら、後継者を増やしていきたいという思いも燃え上がってきました。 私はこれからも石川町を良くしたいという気持ちは誰にも負けないくらい持ちつづけていくつもりでいます。
高原委員	子供たちの目から見る町というのは、本当に純粋なものです。私の子供が修学旅行でいつものとおり付近を通る人に「おはようございます」とあいさつをしても返事がないと言っていました。石川ではあいさつが返ってくるのが当たり前だと思っていたのでビックリしたようでした。これは、小学生でも中学生でも高校性でも当たり前なのですが、なぜか大人になってしまうとギクシャクしてしまうのが残念だと思っています。まちづくりの根本にあるのは人づくりであると思っています。商工会の青年部でも人の協力については非常にありがたいということを実感しています。 今回の委員会では毎回、笑いながら楽しく進められた中で、それぞれこの町の好きなのところがあって、いいところも知っていて色々な会話を通して石川町を再発見できた委員会でした。 まとめあげる過程を楽しませていただきました。このような集まりがあちこちで起きれば、石川町ももっともっと若い人達が力を発揮出来る場面が増えてくるのではないでしょ

	うか。
吉田（英）委員	この委員会に参加させていただきまして、皆さんが石川町のことを考えて、石川町のことが好きなんだということが良くわかりました。
	商工会の活動などを通して思うことは、若者たちが元気であるということはいさつひとつでわかるものだとことです。いさつが出来る人は一般的なことをあたりまえにこなすことが出来る人です。
	今回、会議を通して私自身も大変勉強になりました。
酒井委員	多くの回には参加できませんでしたが、今回の提言で「おはよう」や「こんばんは」は、自分からしなければ返ってこないんだということを改めて感じました。もっと自分から率先していさつをするようにしたいなと思いました。
遠藤委員	最初、若者まちづくり委員会の委員ということで名前が挙がったときには何をして良いのか良くわからず、不安な点もありました。自分が想像していた委員会の運営の仕方とはかなり違ったのですが、全く真っ白なところからテーマの構築から提言まで形にしていく、はじめて顔を合わせる人たちと何かを作り上げるということがこのように形になる過程を振り返って、良かったと思います。
	何よりもこのような場を通してここにお集まりの皆さんと面識を持たれたということが、私にとって一番の財産だなと思っております。
西牧委員	役場の職員というよりは、一町民として参加しました。町に関わる若者の皆さんとの中で、ひとり一人が石川町を思い、希望を持っているということを感じました。それぞれに石川町には好きな場所があったり、思い出のある場所があったり、好きなものがあったり、それがそれぞれが違うものであっても、石川町を自慢できる町に、そしてもっと良くしようとする気持ちを持っているということを再確認しました。大変意義のある若者まちづくり委員会になったと思っています。
中沢委員	私が石川町に参りまして1年半が経過しました。こちらに来てはじめて感じましたのが石川町の春の自然、今出川の桜。それから何と言っても小中学生のいさつには正直、驚きました。いろいろな方部を転々として参りましたが、朝のいさつを子供たちにしてもらったと言うのは初めてでした。正直に素晴らしい町だなということを感じました。
	9月に行なったタウンウォッチングで石川町の何箇所かを見てまわったのですが、石川町にずっと住んでいる皆さんにはあまり意識していないものかもしれませんが、私にはとても新鮮に目新しく映りました。
桑沢委員	委員会が始まるまでは不安もあったのですが、参加してみて、とても良かったなと感じています。以後、このような機会がありましたらよろしくお願い致します。
小木委員	若者まちづくり委員会に参加するにあたって最初は戸惑いました。
	これからの第5次総合計画については地区でもこれから集まりなども増えてくると思い

	<p>ますが、おそらく年輩の人たちのように、この委員会においても意見を出してくださいと</p> <p>なると要望ばかりしか出ないのかなと思っていました。この委員会でも若者がどのように</p> <p>この町を思っているのかということ話す場とっていたのですが、いきなり自分の趣味</p> <p>や町の好き嫌いを張り出してというようなことから始まったので、これまで思っていたも</p> <p>のとは全然違う方法で話がどんどん進んできました。</p> <p>私はこれから地区の集まりにも出るようになるわけですが、今回のような方法もあると</p> <p>いうことを勉強になりました。このようなことを取り入れて地域で色々と話をしていきた</p> <p>いと思っています。いい体験をさせてもらいました。</p>
志賀委員	<p>今回、若者まちづくり委員会に参加しまして色々な立場、色々な環境の皆さんと色々な</p> <p>話ができて自分の中で視野が広がったように感じます。</p> <p>私は石川吹奏楽団に所属しております。音楽に携わり、にぎやかなことやお祭りなどが</p> <p>大好きなのです。にぎやかなことの背景には必ず笑顔の存在を感じています。とても緊張</p> <p>しやすいのですが、この場では笑顔で話し合いの機会を何度ももてたことがとても</p> <p>身になりました。また、内容の濃い議論が出来、自分がひとまわり成長できた場だと思っ</p> <p>ております。このような場に委員として参加できたことを嬉しく思います。</p>
副町長	<p>事前に提言書を見ていたわけではなかったので、正直に申しまして、一言でいえば感動</p> <p>しました。</p> <p>この提言書を町民の皆さんが見たらびっくりするのではないのでしょうか。私も本当は要</p> <p>望ばかりの提言になるのかもしれないと思っていました。この3つの提言については非常</p> <p>に感動しました。昭和40年代から日本は経済至上主義の中で成長してきました。そして</p> <p>現在では物質的に満たされているが、何か心が満たされない雰囲気が日本社会の中で蔓</p> <p>延しています。人間は感情を持つ動物ですから、いがみあう社会を構築してしまった一面</p> <p>もあると思います。しかし、おもいやりやあいさつというのがこの社会の中で一番大切な</p> <p>ものなのではないでしょうか。いじめなどが問題とされるように何か世の中に満たされな</p> <p>いものがあるのではないかと感じています。</p> <p>皆さんから提言していただいた「めんごいいしかわ」のようなものをキーワードにして</p> <p>まちづくりを進めていかなければならないのだなと感じました。繰り返しになりますがこ</p> <p>のような皆さんの提言を受けてびっくりしています。皆さんからいただいた3つの提言を</p> <p>若者やまちづくりをしている人にどのように活かしてもらおうのかということ考えた時に、</p> <p>非常にいい提案をしていただいたと素直に思います。</p> <p>みんなで物を分け合うような気持ちを持っていれば、物もお金も決して不足するという</p> <p>ことにはならないと思います。</p> <p>まだまだ、皆さんのお力をお借りしながらまちづくりを進めていきたいと思っています。</p>
町長	<p>今から10年位前に石川町を1年かけて歩いてみたことがあります。普段、非常に狭い</p> <p>エリアで生活しているということを感じました。石川町の県道や町道を含めて全部で51</p> <p>0kmを歩こうということで、毎週11kmくらい歩かないと1年で達成できない距離で</p> <p>した。全部を歩くことは出来ない場所もありましたが、荒れてしまった道路もありました。</p> <p>地元の人にも触れました。声を掛けてくれる人、お茶を飲ませてくれる人、おにぎりをく</p>

	<p>れる人などや大根や野菜を持たせてくれるおじいちゃんやおばあちゃんに何人も会いました。このような石川町の人の良さを覚えました。</p> <p>今日の皆さんからの提言の中で「石川町の再発見」というテーマが出ましたが、石川町には有名ではないけれどとても立派な桜が山の中に立っていたりします。石川の桜の再発見や無名の桜に名前をつけてマップなどを製作すれば、広く町内外に紹介できるようなことをすれば、もっと面白いと思います。</p> <p>今回の提言の中で、あいさつをする地域、しない地域があるということも、これも発見なんだなと思います。</p> <p>「めんごい」などという言葉が田舎の本当の良さを表しているのではないのでしょうか。ふるさとの味なのではないのでしょうか。皆さんが提言した「めんごい」の看板なんかも実現したら良いなと思いました。そして、このような取り組みには関わった人の名前を入れると良いですね。このような取り組みを通して、話題づくりになればいいとお思います。元気な町は元気なまちづくりやお祭りが必ず存在しています。夢のあるものやあいさつはみんなの気分が良くなります。これが非常に大切なことだと思っています。お祭りや催しにはみんなが参加する。こういう事が大事なことだと思っています。</p> <p>「めんごいいしかわ」は、よそにいても必ず話をしますから。</p> <p>今日は本当に良い提言をありがとうございました。</p>
高原委員	<p>私たちのグループは全8回の委員会に加えて、もう一回グループだけで集まりを持ちました。</p> <p>自分たちの知らない石川町がいっぱいあるという実感を得ました。楽しもうと思えば、いくらでも楽しめる町だと思います。</p>
中沢委員	<p>郡山やいわきに勤務したこともありましたが、いわきには桜という印象がありませんでした。桜の時期に花見という習慣もあまりないようです。石川に来て、素晴らしい桜を見て、花見しようかなと思ったのですが、見て楽しむには素晴らしい桜なのですが、桜の下でどんちゃん騒ぎをするような場所はないなと思いました。</p> <p>川というのも印象的なのですが、上流まで行ってみると、上流が意外に汚れていたりします。これは残念なことだなと言うように感じました。見えないところが汚いというのが残念でした。</p> <p>また、更に上流では清流に魚が泳いでいたのにはかなり衝撃的で、感動しました。このようなところを是非、残して行って欲しいなと思っています。</p>
芳賀委員	<p>釣りとかをする人を見てきれいな川というのは良いなと思います。きれいな川をみんなで保存しなければならないと思います。</p> <p>私が通った母畑小学校までは遠かったのですが、自分たちが通る道や自分たちだけが知るきれいな場所とかが、それぞれ自分の地元にはあると思います。このような気持ちを持って、地域につなげていきたい。このような気持ちはあるのですが、仕事に追われて余裕がないというのもあります。</p>
鎌田委員	<p>母畑湖で熱い人(やつ)というボランティアをしています。現在、6年目を迎えました。</p>

